

# 平成 2 1 年全国消費実態調査の概要

## 1 調査の目的

全国消費実態調査は、国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、全国及び地域別の世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにすることを目的として、昭和 34 年(1959 年)の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施されており、今回は 11 回目にあたる。

## 2 調査の期間

平成 21 年 9 月～ 11 月の 3 か月間

ただし、単身世帯については、10 月及び 11 月の 2 か月間

## 3 調査の対象

全国のすべての世帯のうち総務大臣の定める方法により選定された世帯  
(二人以上の世帯・単身世帯)

## 4 調査対象市町村

・市については、平成 21 年 1 月 1 日現在のすべての市 (784 市)

・町村については、平成 21 年 1 月 1 日現在の 998 町村から 219 町村を選定

## 5 調査対象の選定

調査対象は、調査市町村の中から合計 4,367 調査単位区を選定し、二人以上の世帯は各調査単位区から 12 世帯を抽出し、全国で 52,404 世帯を、単身世帯は全調査単位区の中から 4,402 世帯を選定

## 6 調査事項及び調査期日

・収入及び支出に関する事項等… 9 月から 1 1 月の 3 ヶ月間

(単身世帯は 1 0 月 1 1 月の 2 ヶ月間)

・年間収入及び貯蓄・負債に関する事項… 1 1 月末日現在

・主要耐久消費財に関する事項… 1 0 月末日現在

### 奈良県分について

○調査対象市町村・・・ 1 2 市 4 町 2 村

奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、田原本町、御杖村、高取町、上牧町、広陵町、十津川村

○調査対象 (客体数)

二人以上の世帯・・・ 720 世帯

単身世帯・・・ 52 世帯